

目 次

- 3 市制施行70周年を迎えて
- 4 市制施行70周年について
- 5 市制施行70周年記念式典
- 6～15 市制施行70周年記念事業
- 16～29 鳥栖市の歩み
- 30～31 鳥栖市内の心揺さぶるエモい写真集、鳥栖市の人口



市制施行70周年を迎えて

鳥栖市長 向門 慶人

鳥栖市は令和6年4月1日に市制施行70周年の節目を迎えました。この節目を迎えられることに感謝し、市民の皆さまと共にお祝いできたことを大変うれしく思います。

この70年間、九州随一の地理的優位性を最大限に生かした企業誘致力を筆頭に、交通の要衝として着実に発展してまいりました。昭和38年分譲開始の轟木工業団地から始まり、近年の新産業集積エリア鳥栖に至るまで、7つの産業団地が分譲されましたが、ありがたいことに、いずれも盛況につき完売しております。市内誘致企業につきましても200社を超えており、さらなる発展を続けています。

スポーツ・文化の面においても、本市には独自の魅力があります。スポーツでは、サガン鳥栖とSAGA久光スプリングスという日本トップリーグで活躍する2つのプロスポーツチームのホームタウンであり、国内最高峰のプレーを身近で体感できます。令和5年春に完成したSAGA久光スプリングスの新たな練習拠点であるサロンパス®アリーナは、チームが主に使用するメインアリーナのみならず、市民にも開放されるサブアリーナを備えており、駅前不動産スタジアムと並ぶ本市の新たなシンボルとして誕生しました。また、文化の面では、九州における交通結節点である好立地から、著名なアーティストのコンサートや舞台が、九州で唯一、本市のみで開催されることも珍しくありません。

加えて、本市は多くの人に選ばれる活力あふれる都市として、令和2年国勢調査において本市の人口増加率は県内1位となっており、地方で人口減少が進む中であっても、今後も人口増加が見込まれています。さまざまな角度から全国の自治体の住みよさを評価したランキングなどにおいても、本市は九州内で常に上位にランクインしており、これからも選ばれ続けるために、より一層の飛躍を目指してまいります。

このたび、市制施行から70年の歩みや実施したさまざまな記念事業を写真を中心に振り返る記念誌を発行しました。この記念誌を通じて、これまでの本市を創り上げた先人たちへ思いを馳せるきっかけを持っていただけるものとなり、これからの未来を魅力的なものに飛躍させるきっかけになることを期待しています。